

生まれる命、失われる命

～日本の月別出生数と死亡数および自然増減数～

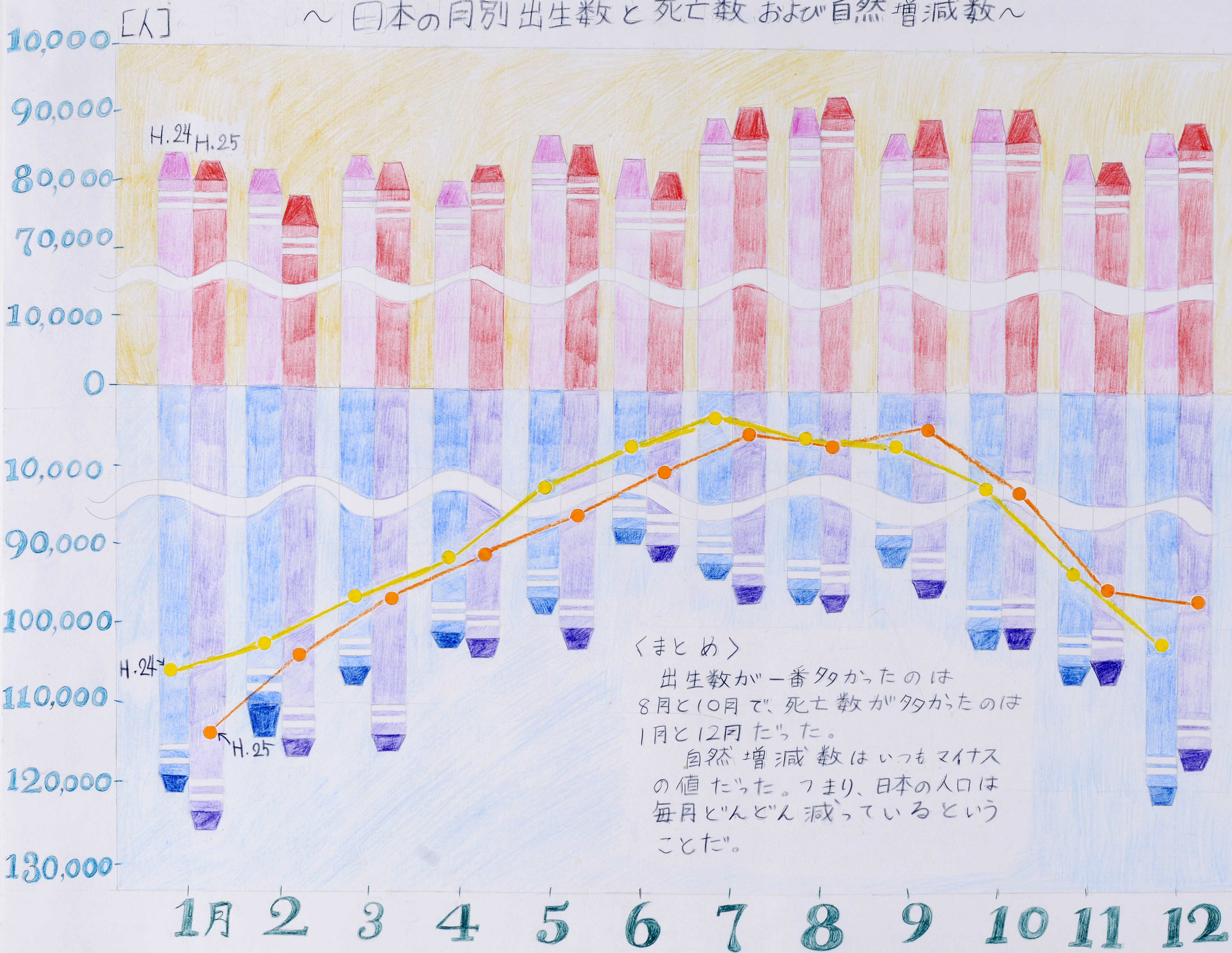
自然増減数 [人] とは?

50,000 (自然増減数)

(出生数)

(死亡数)

この式から導き出される値で出生と死亡による人口の増減のことである。



〈まとめ〉

出生数が一番多かったのは8月と10月で、死亡数が多かったのは1月と12月だった。

自然増減数はいつもマイナスの値だった。つまり、日本の人口は毎月とんとん減っているということだ。

出典: 厚生労働省
人口動態統計月報
(平成25年12月分)
作成